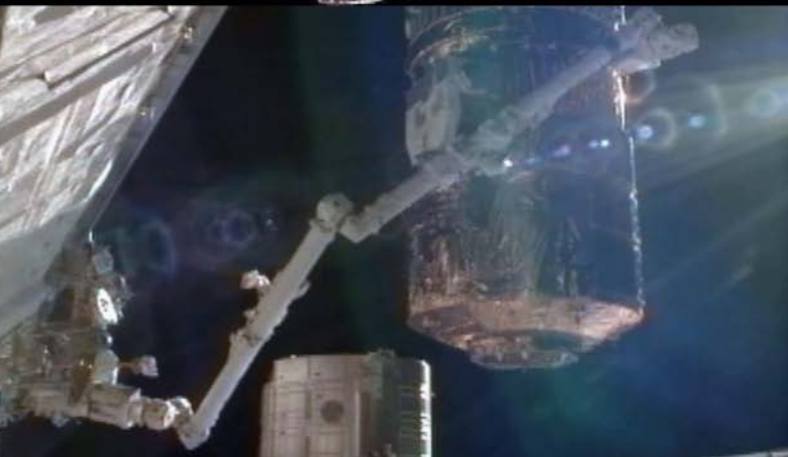


ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 422



ディスカバリー号の到着に備えハーモニーの天頂側に移動される「こうのとりのとり」2号機 (出典: JAXA/NASA)

トピックス

「こうのとりのとり」2号機のハーモニー天頂側への移設作業完了

2月18日から19日にかけて、スペースシャトル・ディスカバリー号 (STS-133 ミッション) の到着に備え、宇宙ステーション補給機「こうのとりのとり」2号機 (HTV2) を「ハーモニー」(第2結合部) の天頂側 (上側) に移設する作業が行われました。

国際宇宙ステーション (ISS) クルーが操作するISSのロボットアーム (SSRMS)

により、「こうのとりのとり」2号機はハーモニーの天頂側に移設されました。移設完了後、「こうのとりのとり」2号機の補給キャリアと圧部のハッチが開けられました。

ディスカバリー号は2月25日に打ち上げられ、2月27日にISSへドッキングする予定です。約7日間のドッキング期間を終了し、ディスカバリー号がISSから分離した後、「こうのとりのとり」2号機はハーモ

ニーの地球側 (下側) に再移設されます。

再移設後には、3月末頃に予定されているISSからの分離に向け、与圧部内の搭載品をISS船内に移送する作業と、ISS船内の不要品を与圧部内に収容する作業が引き続き行われます。

Website info

HTV2 ミッションページ
<http://iss.jaxa.jp/htv/mission/htv-2/>

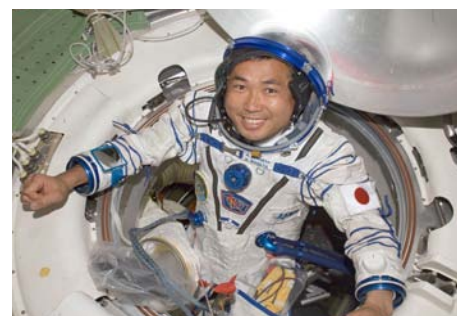
若田宇宙飛行士のISS長期滞在決定、日本人初のISSコマンダーに任命

若田光一宇宙飛行士が、ISS第38次／第39次長期滞在クルーとして、ISSに長期滞在することが決定しました。

若田宇宙飛行士は、第38次長期滞在ではフライトエンジニアとして、ISSの運用、「きぼう」日本実験棟を含むISS各施設のシステム運用、日本および国際パートナーの科学実験をはじめとする宇宙環境の利用に重点をおいた活動などをISSで行います。第39次長期滞在では日本人初のコマンダーとして、滞在期間中の指揮をとることになります。滞在時期は

2013年の年末頃から約6ヶ月間を予定しています。

2月17日に米国ヒューストンと東京を結んで行われた記者会見で、若田宇宙飛行士は、第39次長期滞在のコマンダーに任命されたことについて「重要な任務を与えられたことを嬉しく思う」と述べ、「日本人の和の心を大切にチームを取りまとめていきたい。各国の宇宙飛行士一人一人の目指すものをしっかりと理解して、チームとして最大の成果を挙げたい」と意気込みを語りました。



ソコル宇宙服を着用した若田宇宙飛行士 (ISS第18次長期滞在時) (出典: JAXA/NASA)

Website info

若田宇宙飛行士のISS長期滞在決定！
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/wakata/news/exp38_wakata.html



温度勾配炉の動作確認作業を継続、マランゴニ対流実験などを実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室に設置された勾配炉ラックの温度勾配炉 (GHF) 内で発生した GHF 制御装置と試料自動交換機構制御装置間の通信エラーについて、原因究明および復旧に向けた作業を引き続き行っています。

「マランゴニ対流における時空間構造」実験の第 2 シリーズを、流体実験ラック

の流体物理実験装置 (FPEF) を使用して継続的に実施しています。

2 月 21 日から 22 日にかけて、「長期宇宙飛行時における心臓自律神経活動に関する研究」(Biological Rhythms) の一環として、心電図の記録などを行いました。この実験は 2 月 23 日から 24 日にかけても行います。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

STS-133 ミッションの準備状況

ディスカバリー号の打上げ日時は 2 月 25 日午前 6 時 50 分に正式決定

米国時間 2 月 18 日に開催された飛行準備審査会 (FRR) にて、スペースシャトル・ディスカバリー号 (STS-133 ミッション) の打上げを 2 月 25 日午前 6 時 50 分に実施することが正式に決定されました。

STS-133 ミッションでは、「レオナルド」(多目的補給モジュール 1) を改修した

恒久型多目的モジュール (PMM) と、エクस्प्रेस補給キャリア 4 (ELC-4) を国際宇宙ステーション (ISS) に運搬します。

STS-133 クルーは打上げに備え、2 月 21 日に NASA ケネディ宇宙センター

(KSC) に移動しました。打上げに向けたカウントダウンは、2 月 22 日午前 5 時から開始されました。

Website info

ISS の組立フライト ULF5 (STS-133)
<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf5/>

今週の国際宇宙ステーション



最初の ISS 構成要素打上げから 4477 日経過

ロシアの船外活動などを実施、ATV2 は当初の予定より 1 日遅れて打上げ

第 26 次長期滞在クルーは、ロシアの船外活動や、宇宙ステーション補給機「このとり」2 号機 (HTV2) の移設作業などに忙しい日々を過ごしました。

2 月 16 日から 17 日にかけて、スクリポチカ、コンドラティエフ両宇宙飛行士によるロシアの船外活動で、船外実験装置の取付けや回収などが行われました。

欧州補給機 (ATV) 2 号機「ヨハネス・

ケプラー」は、2 月 17 日午前 6 時 50 分にアリアン 5 ロケットにより、フランス領ギアナのクールー宇宙基地から打ち上げられました。当初、ATV2 は 2 月 16 日に打ち上げられる予定でしたが、アリアン 5 ロケットの推進薬の流量を示すデータに誤った値が生じた可能性があったことから、打上げが 1 日延期されました。

プログレス補給船は (39P) は 2 月 20

日午後 10 時 12 分に ISS から分離し、太平洋上に安全に投棄されました。

Expedition 26 Crew

ISS 滞在 136 日経過
 スコット・ケリー (NASA)
 アレクサンダー・カレリ (ロシア)
 オレグ・スクリポチカ (ロシア)

ISS 滞在 66 日経過
 ドミトリー・コンドラティエフ (ロシア)
 キャスリン・コールマン (NASA)
 パオロ・ネスポリ (ESA)

more information



- ▶ 2 月 28 日 (月) 開催 国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟利用成果ミニシンポジウム参加者募集 (2 月 24 日 (木) まで)
http://iss.jaxa.jp/topics/2011/02/minisymposium_110228.html
 テーマは生命科学実験についてです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。
- ▶ 3 月 4 日 (金) 開催 平成 22 年度第 3 回宇宙医学生物学研究ワークショップ参加者募集 (3 月 1 日 (火) 午後 5 時まで)
http://iss.jaxa.jp/topics/2011/02/igaku_ws_fy22.html
 テーマは「宇宙医学生物学の理解増進に向けた取り組み」です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第 422 号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
 ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp
 ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。